

令和元年度 未来をつくろう 市民と市長の地域懇談会

報告書



日時	令和元年9月24日(火)	午後6時30分～8時30分
場所	栄町コミセン	
参加者数	33人	
市側出席者	市長	北 猛俊
	副市長	石井 隆
	総務部長	稲葉 武則
	市民生活部長	山下 俊明
	保健福祉部長	若杉 勝博
	経済部長	後藤 正紀
	建設水道部長	小野 豊
	教育部長	亀渕 雅彦
	ぶどう果樹研究所長	川上 勝義
	企画振興課長	西野 成紀

【市長 開会のあいさつ】

本日は、2会場目ということで栄町、若葉町、幸町のみなさんにお集まりいただきお礼申し上げます。今年から、みなさんと少しでも近くで話し合いたいと思い、会場のレイアウトを少し変えています。

昨年は、JRと市庁舎の関係をテーマに説明しました。JRの関係では、JR北海道と関係する路線ごとの自治体で、JRに関心を持ってもらい、乗ってもらうための取り組みを進めるアクションプランを作成しました。今年と来年の取り組みになりますが、JRと自治体が努力する姿を見てもらい、国が令和3年からの支援策を決めることとなります。また、今年と来年の負担の在りようを検討したところ、北海道が先頭に立って年間2億円をJRに支援することを決め、JRの利便性やサービスを向上するために使われます。2年間で4億円の支援が行われます。これにあわせて、国も応分の負担をすることとなります。市では、9月補正予算に臨時的な支援ということで150万円を計上しています。人口規模によって多い自治体もありますが、関係する自治体の平均的な金額が150万円となっています。市議会は明日が最終日です。可決をいただければJRに対する富良野市の支援が定まることとなります。

今年の地域懇談会のテーマは、富良野市のまちそだてです。今年から来年にかけて、第6次総合計画の策定をしていきます。令和3年から新しい総合計画がスタートします。新しい富良野のまちそだてに向けて、みなさんから忌憚のないご意見をいただきたいと思います。

少子高齢、人口減少の時代です。人口減少では雇用が足りないとか、子どもの人数も少なくなってきました。この状況にどのように対応していくかが求められています。いろいろなものを活用しながら、まちの魅力をつくっていくことで、富良野に関心も持ってもらい、富良野に住んでもらう。そして、満足した生活が送れるような施策を展開する。そのことが、次の第6次総合計画のなかで求められてくると思っています。

日常生活のなかで、みなさんが満足するような方策には、何が必要かということを提案していただけるとありがたいと思います。

【懇談会の意見と回答】

市民協働（自治会）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○富良野市の人口は 21,690 人。65 歳以上の高齢者は 32.7%。75 歳以上の高齢者は 17.6%。栄町は 411 人で 220 世帯。高齢者人口は 32.1%。75 歳以上の高齢者は 21.6%。現在の栄町の現状が、富良野市の将来と似ている。</p> <p>○現在のまちづくりは、行政と連合会という枠組みで行われているが、この関係を維持することは難しくなる。</p> <p>○各地域は高齢化し、単位町内会の戸数も少なくなってきた。高齢化によって役員のなり手もない。若い人は町内会に入ってくれない。</p> <p>○栄町にも 15 年前から自主防災組織があるが、現在は機能していない。なぜかという、手助けをする若者がいないから。いくら頑張っても難しい状況にある。</p> <p>○旭川市、士別市、札幌市は新たな枠組みで「市民委員会」というコミュニティ組織をつくっている。これは、地区単位の組織を合併し、一つの組織にして、その中に子育ての委員会や福祉の委員会、防災防犯の委員会などをつくり、行政と委員会が意見交換する仕組み。新たな組織づくりで新たな動きをつくってほしい。</p> <p>○現在の富良野市は、連合会と意見交換が行われているのか。行政側から連合会にお願いしたとしても、受け皿がないと受け手もできない状況がある。</p> <p>○行政が地域の受け皿をつくるような組織作りをしてほしい。</p> <p>○連合町内会は 32 あるが、少ないところと多いところの差が激しい。麻町連合会と北の峰連</p>	<p>○前回の朝日会館でも似たような話が出ています。市民協働課では、日頃から町内会の運営についての相談を受け付けています。総合計画策定に向けて、他市の状況を勉強しながら富良野市に合った住民組織の研究協議をしていきたいと思っています。</p> <p>○コミュニティの関係では、農村部でも同じような状況だと聞いています。若松町でも組織が成り立っていないので、組織を大きくするなどして担い手を確保したいという話が出ていました。組織のあり方の検討は、今後本当に必要なことだと思っています。</p>

<p>合会、東春連合会は 600 世帯前後で組織している。これだけあれば良い。栄町は 200 世帯。実際に町内会に加入しているのは 165 世帯。若葉、栄、幸が一つの組織になることはできないのか。そうすればいろんなこともできるようになる。連合会の規模を同じレベルにしてほしい。</p>	
<p>○第 6 次総合計画に向けて、連合会組織を発展的に解消して、新たに目的別に活動する組織をつくってほしい。</p>	

市民協働（広報活動）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○懇談会や説明会に来ていない人が多く、新庁舎の説明会に行くと初めて来て 1 年前のことを質問する人もいる。新聞を取っていない人、町内会に入っていない人も多いため、そういう人たちに向けてラジオで情報を発信したら良い。</p>	

教育（スポーツ施設）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○第 6 次総合計画に向けて、スポーツセンターや陸上競技場の整備は、市内にホテルが増えて宿泊数が確保できるようになったので、スポーツ合宿やスポーツ大会を誘致できるようなレベルの高いスポーツ施設にして、まちの活性化につなげてほしい。</p>	

基盤整備 (市庁舎建設)

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○税金はどれだけ増えるのか</p>	<p>○税率は国が定めているもので、市庁舎の建設で税金が上がることはありません。</p>
<p>○文化会館の席数はどれだけか。文化会館で開催する行事は考えているのか。建物を見ると半分以上が文化会館。町内会のカラオケで使わせてくれるのか。</p> <p>○中学生や高校生がやっている学校祭は、体育館でやっているが、文化会館でやって市民をいっぱい集めるといことも考えてほしい。</p>	<p>○文化会館の固定席は 551 席です。市役所と文化会館の空き部屋を集約して、無駄をなくそうと考え、市役所と文化会館をあわせて 2 割の面積を縮減しました。ビールパーティーはマルシェのタマリーバよりも大きな大会議室が使えます。</p>
<p>○議員の定員減は考えていないのか。人口減少で定員割れも考えられる。議場の広さはどのように検討したのか。</p>	<p>○今までは固定席でしたが、新しい庁舎の議場は椅子や机が可動式です。会議やほかの用途にも使えるようになっています。</p> <p>○議員の定数は条例で定めています。議員定数は議会で考えていただきます。</p>
<p>○防災計画の見直しがあり、100年に一度の想定が1000年に一度の想定に変わった。空知川が決壊したらどうなるのか。</p>	<p>○100年に一度の大雨で50cmです。現在の庁舎でも浸水しない高さで、新しい庁舎も浸水しないようかさ上げします。</p> <p>○1000年に1度の大雨で、空知川が破堤または越水した場合、市役所が浸水する深度は3m以内です。このため、事前に災害対策本部を立ち上げ、司令塔として情報発信を続けていくために、発電設備や必要な設備を2階以上に配置し、1階部分が水没しても防災機能を発揮できるようにします。2階部分は4.5m以上の高さになりますので、1000年に1度の大雨でも2階部分は水に浸かりません。</p> <p>○災害が発生する場合は、事前に避難所を開設</p>

	し、市民のみなさんは避難所に避難してもらいますので、市役所に行き来するような状況にはならないと思います。
○北の峯ハイツを改築したとき、災害時に地域へ水道水を給水できる設備を整えた。市役所も同じように災害発生時に給水できるような設備を付けてほしい。	○水道の給水については、実施設計で参考にします。
○屋上は避難所として使えないのか	○新しい庁舎の屋上には上がりません。市役所は末広町と弥生町のみなさんの一時避難所です。長期になれば学校に分散して避難することになります。

防災・防犯（防災体制）

【ご意見】	【市の回答・対応方針】
<p>○ハザードマップが小さくて、高齢者には見ることができない。</p> <p>○近くの高い建物に避難するように言われことがあるが、建物の所有者に市から話しをしているのか。</p>	<p>○早い段階で高齢者避難準備の勧告がでますので、要支援者は指定の避難所に避難できるよう支援します。町内会や民生委員のみなさんに協力してもらいながら、早く避難できるように対応します。</p> <p>○一般の方の建物に避難をお願いするような話しはしていません。</p>
<p>○ふれあいセンターまで歩いて避難することができない。</p> <p>○高齢者や障がい者など、避難に支援が必要な人を把握しているのか。</p> <p>○要介護の人は良いが、一般の高齢者は水が流れる道路をこいで避難できるのか。2階に上がれというが、いつまでもつか。</p>	<p>○災害本部で避難準備や避難勧告の発令があると、保健福祉部で避難対象の地区にいる要介護認定者や障がい者の名簿をもとに対応します。それ以外の情報は、地域の民生委員が支え合いマップを作って把握しています。そうした民生委員の情報を借りながら、避難には市と町内会が連携して、いち早く配慮が必要な人を避難所に連れて行くこととなります。</p>

	○高齢者避難準備は、余裕を持って行動ができるように早い段階で出されます。
○富良野高校は避難所になっているのか。	○垂直避難ということで、富良野高校の2階や3階も避難所で使えるようになっています。
○防災マップで避難場所が変わったが、どこに避難したら良いのかわからない。もう少し詳しく、町内会単位や民生委員、連合会を通じて説明してほしい。	○避難場所は市が指示しますので、指示された場所に避難してください。できれば自主防災組織を中心に活性化してほしいと思います。
○自主防災組織はあるが機能していない。助けてほしい人はいるが、助けてくれる人がいない。	
○緑峰高校のネットに付いている浸水想定の上の標識が、2mの高さにあるので誰も見ない。付ける位置を考えてほしい。	
○ラジオふらのを活用して、防災ラジオの番組を毎日8時15分と13時に、市の情報を流す。連続ドラマが終わったらラジオを聴くような習慣を付けておけば、災害が発生したときでも富良野にどんな警報が出ているとか、そういうことを毎日、周知を徹底して、とにかくラジオを付けるという習慣を付ける。お悔やみの情報など、新聞の字が小さくて読めない高齢者もいるので、関心の高い情報を毎日放送したら良い。	

【市長 閉会のあいさつ】

市民協働（自治会）

地域コミュニティの課題は、以前から話題になっています。不足するコミュニティをどうしたら良いのかは、まちづくりの一つの目標になっています。改めて、今日の話しを聴くと、連合会の組織は目的を持った委員会的な組織への再編はできないかという提案もありました。また、地域の防災対策では、高齢者の早い避難は、連合会や町内会のコミュニティを持った組織の在りようにも求められています。地域のコミュニティが行き届いていれば、どこにどんな人が住んでいるのかという情報も町内のなかで詳しくわかっていることになります。

連合会も地域の振興と発展を自らつくっていく自主的な組織であるべきで、行政が組織の運営に深く関わるのはどうかと思っています。次の総合計画の策定に向けて、連合会や町内会を含めた組織の在りようを検討し、再編も必要だと思います。しかし、最終的には自主的な組織ということで、そこに住んでいる方々が今後の生活の在りようを含めて検討をしていただくことになります。

目的を持った委員会的な組織の在りようは、新しい公共の持ち方を考えたときに、この後のまちづくりのなかで求められてきます。新しい公共というのは、今までは行政側が企画検討したものを市民のみなさんに提案して動きをつくってききましたが、これからは、住んでいる市民のみなさんと行政が一体となって検討し考えてかたちをつくっていく、そのプロセスが新しい公共になっていきます。そうしたことも新しい総合計画のなかで検討します。

新しいまちづくりのなかでは、それぞれの町内会とそこに住んでいる人たちが元気になってもらうことが一番大事なことです。

基盤整備（市庁舎建設）

庁舎建設に関連した文化会館の利用と運営については、行政だけが施設をつくるものではなく、演劇工場が演劇工房という団体をつくって活動をしているように、文化会館の運営も、そうした組織が必要になってくると思います。今後、そうした組織をつくる時にはみなさんにも協力をお願いしたいと思います。

市民協働（対話によるまちづくり）

説明会ではなく、もっとわかりやすくしてほしいという意見もありました。本日は地域懇談会として開催していますが、このほかに市長室トークや市長出前トークもあります。いろんなかたちで意見をいただく場を設けていますので、利用していただきたいと思います。

【参加者アンケートの主なご意見】

年齢区分	性別	ご意見
50-59 歳	女性	<p>○人口減になるのに、庁舎等のお金を払っていけるのか不安。</p> <p>○外国人の交通事故が多くなっている。何か考えはあるのか。</p> <p>○ホテルがたくさん建つが働く人がいない。今働いている人の取り合いになるのが不安</p> <p>○外国人労働者が多くなると思うが、対応や考えはあるのか。</p> <p>○不安が大きくなった。</p>